

としよかんへ行こう

谷川 俊太郎

本は手でさわられるけれど、  
本に書いている  
なかみは手でさわれない。  
私たちはそれに  
心でさわるんだ。  
本を読んでいると、

心がどんどん  
大きくなる、深くなる。  
あなたは見たこともない

国へ行けるし、  
青空のおくの遠くの星へも行ける、  
新しい友だちもできるし、

自分が王子や王女に  
なることだってできる。

しかもえいがや  
ファミコンとちがつて、  
としよかんでは

それがみんなタダなんだ。

ぼくもよく近くの

としよかんへ行く。

べんきょうしに行くこともあるが、  
本のせかいであそぼうと思って  
行くことのほうが多い。  
本といっしょだと、

ひとりでもあそべるんだよ。  
じぶんのまちに

「こどもとしよかん」が  
あるなんて

ほんとうにうらやましいな。

高知こどもの図書館の開館を記念し  
て送られた詩で、館内には額に入った  
毛筆の字で掲げられている。